

平成 25 年度 施策・基本事業評価表(平成 24 年度振り返り)

作成日 平成 25 年 9 月 2 日

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち
施策No.	10	施策名	多様な交流の推進
主管課名	企画政策課	主管課長名	殿村 伸二
関係課名	商工観光課、農林水産課、地域協働課、生涯学習スポーツ課、埋没林博物館、魚津水族館		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や農林水産業と連携した体験・交流の場を求めて多くの人が本市を訪れています。</li> <li>・全国に発信できる様々な芸術文化やスポーツ等のイベントが本市で開催されています。</li> <li>・国際社会への理解が進み、市民の国際感覚が豊かになり、活発な交流が行われています。</li> <li>・外国人が訪れ、過ごしやすい環境が整備され、まちがにぎわっています。</li> </ul>
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	大学女子野球など全国から多くの人が集まる各種大会やイベントを応援し、盛り上げます。 市民レベルの国際交流に参加します。
	行政	片貝山の守キャンプ場、新川学びの森天神山交流館、博物館などの宿泊型公共施設や体験学習施設の充実を図ります。 国際交流の場を企画し、提供します。 外国人が訪れやすい環境を整備します。
	その他	地域の伝統文化の伝承や、イベントの実施など地域の魅力アップを図ります。 農山漁村で自然や文化、住民との交流を楽しむことができる機会づくりに協力します。

区 分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	2 (2)			
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	1 (1)			
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	1 (1)			
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	5,596	0	0	0
	うち基本事業①を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	2,728			
	うち基本事業②を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	2,365			
	うち基本事業③を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	503			
	うち基本事業④を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—				
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	9			
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	3,260			
	E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費4,399円)	千円	—	—	14,341			
	F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	19,937	0	0	0
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の	円	—	—	126			
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	324			
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	450			
	I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—				
参考	魚津市の人口	人	—	—	44,315			

施策No.	10	施策名	多様な交流の推進								
施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み	基本事業名①		事業内容(活動内容)								
	体験・滞在型交流の推進		自然資源を活かした体験メニューの提供や農山村漁村に滞在するグリーンツーリズム、ブルーツーリズムの発掘に努めます。交流宿泊施設が県内外からの合宿や学習の場として多く利用されるようPRに努めます。								
	①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	水の学び舎事業		水の学び舎ツアー等を実施しながら、魚津市の自然資源を広く認識してもらい、交流人口の拡大に努めます。								
	基本事業①の目的【意図】		交流人口が拡大することで、農山漁村をはじめ地域が活性化します。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	新川学びの森天神山交流館宿泊者数		人	2,646	2,800	3,000	3,200	3,300	3,400	3,500	4,000
	片貝山の守キャンプ場利用者数		人	1,925	6,000	8,000	8,500	9,000	9,500	10,000	15,000
					7,163	6,970	8,813				
	基本事業名②		事業内容(活動内容)								
	イベント開催、コンベンションの誘致		全国から多くの方が本市を訪れ、市民との交流の機会が拡大するよう芸術・文化、スポーツイベント等を開催します。また、各種コンベンションを誘致し、まちのにぎわいを創出します。								
	②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	コンベンション開催支援事業		県外宿泊者50名以上のコンベンションに対して1人1泊1000円を助成します。(限度額50万円)								
	全日本大学女子野球選手権大会事業		市民ぐるみで大会を応援・協力し、開催経費の一部を市が助成します。								
	しんきろうマラソン事業		市民ぐるみで大会を応援・協力し、開催経費の一部を市が助成します。								
	全国大会開催誘致事業		全国山城サミット、全国山・鉾・屋台連合会などの全国大会を魚津市に誘致します。								
	基本事業②の目的【意図】		全国から多くの方が各種大会やイベントで本市を訪れることで、まちがにぎわい、活性化します。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	コンベンション開催数		回	5	5	6	7	8	9	10	15
	魚津しんきろうマラソン参加者数		人	3,914	4,000	4,100	4,200	4,300	4,400	4,500	5,000
					4,288	4,499	5,650				
	基本事業名③		事業内容(活動内容)								
	国際交流の推進		国際社会との共生、交流を目指し、国際交流事業を展開します。市民間の国際交流事業の支援に努めます。外国人が訪れ、過ごしやすい環境を整備し、多様な交流を推進します。								
	③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
国際交流推進事業		国際交流推進員やALTIによる異文化交流事業やボランティアによる日本語教室等を実施します。									
友好親善都市交流事業		タイ王国チェンマイ市との友好交流を推進します。									
基本事業③の目的【意図】		活発な国際交流を通して、市民の国際社会への理解が進むとともに、(在住)外国人が暮らしやすくなっています。									
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	
国際交流推進員登録者数		人	13	15	17	20	22	24	25	30	
外国人が訪れやすく、過ごしやすい環境が整っていると感じる市民の割合		%	13.5	15.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	30.0	
				9.9	19.2	21.0					
基本事業名④		事業内容(活動内容)									
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)									
基本事業④の目的【意図】											
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	

施策No.	10	施策名	多様な交流の推進
-------	----	-----	----------

24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)
	①山の守キャンプ場利用者数は少しずつ増加しています。新川学びの森天神山交流館の宿泊者数は、夏季や室内楽の利用が回復したことにより、前年を上回りました。
	②魚津しんきろうマラソン大会参加者数は年々増加しており、平成24年も5千人を上回り過去最高人数を更新しました。コンベンション開催は目標を上回る開催実績となっています。
	③国際交流推進員登録者数は、平成24年度は若干目標を下回っています。
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)
	近隣他市においても、それぞれの特徴を生かした取り組みが実施されています。
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)
	市民アンケートでは、「外国人が訪れ、過ごしやすい環境が整っていると感じる市民の割合」は低い水準ですが、前年度よりも高くなっています。施策「多様な交流の推進」に対する市民の満足率は10.9%と低く、不満率15.1%を下回っています。施策の重要度に関する調査結果は、重要との回答が40.1%で、他の施策よりも低い結果となっています。
	2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述)
①平成21年度に自然とふれあい、宿泊も可能な施設としてオープンした「片貝山ノ守キャンプ場」では、紅葉まつりをはじめ地元主催のイベントも開催されるようになってきています。 平成23年度からは、「魚津の水循環」をテーマにしたモニターツアーを実施しています。 新川学びの森天神山交流館は、音楽や各種合宿の場として、県内外から利用されています。 平成22年度から漁業再生プロジェクトを実施し、地引き網漁業体験や漁業観光体験などで観光客誘致を図っています。	
②魚津しんきろうマラソン大会や全国大学女子野球大会のイベントには、県内外から多くの人が本市を訪れています。 市制60周年の平成24年度に誘致した全国山鉦屋台保存連合会総会や全国山城サミットなどの大会には県内外から多くの参加があり、宿泊施設や海の駅等に経済効果がありました。	
③友好親善都市の岡山県井原市とは、相互の産業フェア(まつり)やマラソン大会に市民や市職員が参加しています。また、小学生を対象とした児童交流事業を実施しているほか、ライオンズクラブやシニア野球交流なども行われています。 平成24年度は、新たに長野県飯山市と観光交流都市協定を締結しました。 近年、チェンマイ市との具体的な交流事業が実施されていませんでしたが、平成24年度に市制60周年・両市友好親善25周年を記念に桜の記念植樹訪問事業を実施し、今後の交流事業について意見交換を行いました。	
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)	
①農林水産業や自然を生かした体験・滞在型の交流の内容や提供体制が今後の大きな課題です。また、山ノ守キャンプ場や天神山交流館の宿泊者や利用者が増えるような事業の企画立案も望まれます。 平成23年度から、関係課や関係団体が連携しながら、魚津の水循環を体験できるツアーや博物館を中心とした学びの場の提供などを内容とする「水の学び舎事業」に取り組んでおり、25年度も引き続き実施します。	
②魚津しんきろうマラソン大会や大学女子野球選手権大会など市外から多くの人が参加する大会を、今以上に市民全体で盛り上げていくことが望まれています。 地域経済への波及効果も大きいコンベンション等の開催の促進を図るとともに、食の魅力を生かした食泊連携事業を実施します。	
③岡山県井原市との友好親善都市交流事業や長野県飯山市との観光交流都市連携事業を推進します。 また、商工会議所間の友好提携を参考に、新たに交流に向けた取り組みを行います。 タイ王国チェンマイ市との友好親善交流については、平成25年度に魚津まつりへ招待するなど更なる交流の推進に努めます。	

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	重点
	総合計画では、定住人口が減少する中で、地域の活性化を図るためには、通学者や通勤者のほか、観光や消費など様々な目的で本市を訪れる「交流人口」を増やすことが重要としています。 特に、地域経済への波及効果が大きいことから、本市での宿泊者や滞在者を増やす取り組みが望まれます。 そのためには、各種コンベンションの誘致や芸術・文化、スポーツイベントの開催に対する支援などの対策を拡充していく必要があります。	

行政経営 戦略会議 評価 (施策の課題 及び方針)	施策の重要度	一般
	◆各種コンベンション誘致や、芸術・文化・スポーツイベントの開催に対する支援を引き続き行い、市外からの観光客や来訪者を増やします。 ◆自治体間の新たな交流に向けた取組みを行うとともに、市民レベルの交流の拡大を推進します。	